

## 第 15 回 死因究明・個人識別システム研究会

テーマ：「諸外国の死因究明制度の現状を再確認：日本との対比」

日時：2025 年 9 月 20 日（土）13:00～16:30

会場：東京大学山上会館（zoom によるハイブリッド開催予定）

司会・進行：岩瀬博太郎

13 時 00 分～13 時 05 分

開会の辞

会長 岩瀬博太郎

報告 1

13 時 05 分～13 時 35 分（講演 25 分 質疑応答 5 分）

「日本の死因究明制度」

東京大学法医学 教授 榎野陽介

報告 2

13 時 35 分～14 時 05 分（講演 25 分 質疑応答 5 分）

「スウェーデンの死因究明制度」

Dr. Elias Palm, Head of the Department Forensic Medicine at the Swedish  
Board of Forensic Medicine

報告 3

14 時 05 分～14 時 35 分（講演 25 分 質疑応答 5 分）

「アメリカ・ハワイ州の死因究明制度」

Dr. Masahiko Kobayashi, Chief Medical Examiner, Department of the  
Medical Examiner, City and County of Honolulu

休憩:14 時 35 分～14 時 45 分

報告 4

14 時 45 分～15 時 15 分（講演 25 分 質疑応答 5 分）

「台湾の死因究明制度」

Dr. Chun Ting Chiang, Attending Physician, Department of Pathology,  
National Cheng Kung University Hospital, and Concurrent Research  
Fellow, the Department of Forensic Medicine, Ministry of Justice, Taiwan

報告 5

15 時 15 分～15 時 45 分

「タイの死因究明制度」

Dr. Tawachai Monum, Assistant Professor, Department of forensic medicine,  
Chiang mai University

15 時 45 分～16 時 25 分

総合討論

16 時 25 分～16 時 30 分

閉会の辞

顧問 石原 憲治